

江田島市



社協だより

第18号

2014年(平成26年)3月1日発行
発行/社会福祉法人
江田島市社会福祉協議会
〒737-2302
広島県江田島市能美町鹿川12060番地
(能美福祉センター内)
TEL (0823)40-2501 FAX (0823)40-2502
メールアドレス info@etajima-syakyo.org
ホームページ http://etajima-syakyo.org/

「誰かが気にかけてくれる」ってええね♪

安心生活創造事業

えたじま見守り支援ネットワーク



～いつまでも住み慣れた地域で暮らすために～

「こんにちは～」 「今日は良い天気ですね」

高齢や障がいのために、生活上の不安を抱える方々のお宅へ「見守り支援員」が定期的に訪問して、安否確認と生活上の困りごとを聞き取る「えたじま見守り支援ネットワーク活動」。現在は江田島市内の8つの地区で、42名の見守り支援員さんが活動されています。(見守り対象者：29名)

「独り暮らしだと不安なことも多いけど、子どもたちは遠くで暮らしてるし…」最近このような声をよく耳にしますが、そんなときに一番頼りになるのは、やはり「ご近所さん」です。この「えたじま見守り支援ネットワーク」で、お互いを気にかかけあい、困りごとがあってもいち早く気づける地域づくりを進めていきましょう！

「えたじま見守り支援ネットワーク」
に関するお問合せは



江田島市社会福祉協議会
地域福祉課

電話：0823-40-2210
担当：土手、河内

社協だよりは、皆様からの社協会費や寄付金によってつくられています。ご協力ありがとうございます。

「かけはし生活支援員」 を募集しています！



「かけはし」ってなに？

○誰が利用できるの??

判断能力が低下して、お金の管理や福祉サービスの利用に不安がある方
(障害者手帳や認知症の診断は必要ありません)

○どんなことをするの??

- ・福祉サービスの利用援助
- ・日常的な金銭管理の支援
- ・通帳や書類などの大切なもののお預かり

○利用料は??

- ・福祉サービスの利用援助・日常的な金銭管理
(月 1,500 円)
- ・書類等の預かりサービス



「生活支援員」って何をするんですか？

生活支援員の担い手は地域の皆さんです。

利用者宅を訪問し、本人の状況を伺い、福祉サービスの利用に関する情報提供や相談にのったり、預貯金の出し入れ等をお手伝いします。

※利用者の気になることがあれば、社協職員に知らせてください。



「生活支援員」になるためには？

- 1.まずは江田島市社会福祉協議会へお問合せください。
- 2.詳しい活動内容などを「かけはし担当者」が説明します。
- 3.«生活支援員として活動してみたい」という方は、生活支援員として登録していただきます。
- 4.利用者の状況を見て、生活支援員の活動を個別にお願いします。



○まずはお気軽にご相談ください。

江田島市社会福祉協議会 権利擁護センターえたじま
担当：澤田、酒井

電話番号 40-2501

権利擁護センターえたじま



災害時の障害者支援を考える！

～DVD上映会・災害ボランティア紹介&意見交換会を開催しました～

江田島市障害者生活支援センターでは、市民の皆様には障がいの理解を深めていく事を目的として定期的に講演会や交流会などの啓発事業をおこなっています。

この度の啓発事業は、災害時における障がい者支援の取り組みや、誰もが住みやすい地域づくりに向けたあり方を考えていくためにDVD上映会・災害ボランティアの紹介と意見交換会を行ないました。

江田島市に東日本大震災のような大規模な災害が起きた場合、私たちの周りではどのようなことが起こりうるのか、参加された皆様と共に考えました。



DVD「命のことづけ」～死亡率2倍障害のある人たちの3.11～を視聴後、実際に被災地へ災害ボランティアとして派遣された地域福祉課の職員より被災地の現状や現地での活動状況、災害時におけるボランティアセンターの役割について報告させて頂きました。

災害ボランティア報告の後には、グループワークを行い災害時における自分たちの周りや地域で不安を感じる事や、どのようにすれば大切な命を守り、救うことができるのか話し合いました。



その話し合いの中で、日頃から災害に対する備えをしていない、高齢化や一人暮らしで地域との繋がりが希薄なこと、避難場所が分からない等の課題が挙がりました。

災害時に命を守るためには、現状では準備不足なことが多く、日頃から地域の人たちとの関わりを持ち、自分という存在・自身の状態を知っていただき、気に掛けてもらう事の重要性や、緊急時には助け合えるよう、地域ぐるみで話し合っていく取り組みが必要なのだと感じました。

今回の啓発事業は20名あまりの参加者でしたが、参加者の中には、もっと多くの人にも考えて頂き、周知を図るべきであるといった要望がありました。今後も各地域を周り、地域の実情に合わせて話し合えるよう啓発事業を行ってまいります。各地域や団体などでも開催したいというご要望がございましたら、江田島市障害者生活支援センター【57-2215】もしくは地域福祉課【40-2210】までご連絡下さい。

～みんなでハッピースマイルになろう～
子育てフェスinえたじま

知り合おう
そして繋がろう♪

参加費無料
要予約

とき

平成26年 10:30～
3/11 (水) 14:00

会場

鷲部公民館
(江田島町鷲部二丁目13-1)

●対象/主に乳幼児やその保護者・妊婦さん
地域の方・どなたでも参加可能

※イベントの詳細は親子サークル「HappySmile」公式ブログにて随時更新しております。(http://ameblo.jp/etajima-lpsdate/)

主催：公益財団法人ひろしまこども夢財団「子育てするならわがまちで！」委員会

共催：親子サークル「Happy Smile」

まごころ

香典返し

中央4 尾崎 寿子
大原 田中 勇
三吉 三王 徹哉
柿浦 濱松 政明
中町 川空

一般寄付

中町 匿名希望
飛渡瀬 匿名希望
匿名希望
切申 奥野 俊臣
広島市 山崎 進
高田 シマミュージック
江田島市チャリティーコンペ
江田島傷痍軍人会
鹿川 匿名希望

自立支援センターあおぞらにご寄付ありがとうございました。

お寄せいただいたご寄付は、障がいのある方のために有効に活用させていただきます。

高田 大谷 ウタ子

社協福祉活動へのご寄付ありがとうございました。お寄せいただいたご寄付は、福祉まちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

(平成25年7月1日～平成26年1月31日受付分)

※本会への寄付金については、所得税法による寄付金控除の措置があります。なお、勝手ながら敬称は省略させていただきました。

社協会費へのご協力

ありがとうございます。

市民の皆様からご協力いただきました会費は地域福祉事業推進の資金として有効に活用させていただきます。

一般会費 合計額 1,747,900円
賛助会費 合計額 488,000円
社協会費総合計 2,235,900円

(平成25年4月1日～平成26年1月31日受付分)
賛助会員は特に本会の社会福祉事業に賛同して協力していただける個人・企業・団体にお願いしております。

会員の皆様からいただいた会費は市内の地域福祉活動に役立てています。

一口・1,000円

何口でも結構です。

ご連絡いただければ職員がお伺いいたします。又、振込用紙もございます。

(問) 江田島市社会福祉協議会 総務課

☎0823-40-2501



平成26年1月31日現在 (円)

区分	募金額	
戸別募金	江田島町	2,000,103
	能美町	1,166,404
	沖美町	727,854
	大柿町	1,556,804
法人募金	275,000	
学校募金	21,799	
職域募金	69,413	
合計	5,817,377	

平成25年度
赤い羽根共同募金
ご協力ありがとうございました
ございました



昨年10月1日から12月31日までの3カ月間、「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに、赤い羽根共同募金を実施しました。

市民の皆様から、あたたかい募金をお寄せいただき、心から厚くお礼を申し上げます。

すべての募金は、広島県共同募金会に送金し、平成26年度に配分を受け、江田島市内の地域福祉活動に活用されます。

日本財団から 福祉車両購入のための助成

この度、日本財団から平成25年度福祉車両購入助成金(130万円)の交付を受けて、普通車(8人乗りワゴン)1台(総事業費186万円)を購入しました。

購入した普通車は、「自立支援センターあおぞら」に配置し、障がい者福祉のために活躍しています。

日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

